

金つなぎNEWS

編集発行人 広野光子

令和7年10月

Vol. 20(会創設30周年記念号)

奇跡のような♪、…30年！

皆さま、こんにちは。 その後も変わりなくお元気ですか！ 全世界に1623人の会員を擁する「がんを明るく前向きに語る・金つなぎの会（金つなぎの会）」は、ことし会創設30周年を迎え、「大阪・関西万博見学」と「熊野大花火協賛 金つなぎ逝者鎮魂・生者安寧～祈念の海花火」の2大記念事業を肅々と催行。 あとは、「第15回名張で学ぶがん医療」（名張adsホール＝730人収容）を残すばかりとなりました。 この間、最初の10年は各自の大病と向き合い、【自助努力・身の丈サイズ】の患者会活動を継続してがんを勝ち抜き、次の10年は積み上げた闘病事例を【金つなぎの勝ち抜き経験則】と位置づけ、大阪府や三重県の委託事業（「いのちの出前授業＝名張市・比奈知小学校、南中学。 大阪市・鶴見橋中学、羽衣学園高校」ほか）、がんや難病に悩む患者さんやご家族に寄り添う「名張市がん・難病相談」とNTT西日本大阪病院（現・大阪けいさつ病院）「がん・なんでも相談」など、自分のことよりも【誰かのために何かのできる幸せ】に注力した20年目でした。

直近の10年は、抗がん講演会の継続と、後援事業として「生命の駅伝（上村真由実行委員長⇒上村泰子理事長）」への協力を惜しむことなく、とりわけ今も蔓延し続ける新型コロナ・異形コロナウイルスに負けない患者会活動は、特筆に値するでしょう。 コロナ騒ぎの4年間、定例の行事を一度も休むことなく、ZOOM勉強会を立ち上げ、NTT西日本大阪病院リハビリ科のご協力を得て、病に負けない心身づくりに励みました。【旅は癒し】をモットーに非日常療法にも取り組み、通算1000回超の旅を続けた過程で、参加者の誰もが毎回、「奇跡のような」と感じる不思議の力に助けられて【自然治癒力・自己免疫力】を向上させ、元気な患者会活動を続けてきました。

マスコミ各社さまの【時代の先を読む取材活動】を追いつきに、「生き延びたい！」と願う読者・病友がたの負託に応えて共に歩んだ30年は、まことに感無量です。 私たちは次の周年記念に向かって、今日からまた【明るく・強く・前向き】に、「きっと良くなる・必ず良くなる」と信じて、さあ、一緒に力強い一歩を踏み出しましょう！

わが家の居間に「奇跡のような♪」と添え書きをしたポスター大の「大阪・関西万博」の報告書が張り出されています。 まるで奇跡のように、15枚もの入場券がNET予約で叶い、必ず見学したいと願った「パソナパビリオン」の見学にもお招きをいただき、



一人の落後者もなく、朝から夕刻まで万博を満喫しました

同社の若本博隆社長（現会長）がお出迎えくださるという、信じられないような体験もいただきました（広野光子）



若本社長と広野代表

写真でたどる 30周年の歩み



平成8年初めての海外旅行はアメリカ・ボトマックの桜を觀に



平成8年 第1回大阪城西の丸庭園観梅会



第1回東京新宿御苑観桜会



創設5周年記念事業・四国88か所第26番 金剛頂寺「がん封じ乃椿」顕彰碑奉納の旅



寒風に負けず凛と咲く、梅香・梅花をめでて絆結び
コロナ禍の4年間も毎年大阪城梅園に集う



平成23年、NTT西日本大阪病院(現大阪けいさつ病院)「がん・なんでも相談」がスタート！毎回顧問の今岡真義総長を囲んで和気あいあい



会創設15周年記念「山下敬二郎&直子LIVE」
東京・日比谷野外音楽堂



・上＝中高生のための「いのちの出前授業」
・左＝コロナ環境に負けずZOOM勉強会



がん講演会はいつも超満員



山梨・笛吹へ 花追い旅



「生命の駅伝」のランナーさんたちが名張市役所訪問



「逝者鎮魂・生者安寧祈りの電飾」(名張市、広野代表宅)



サマークリスマス 受付風景



NTT西日本大阪病院とZOOMで指導を受ける

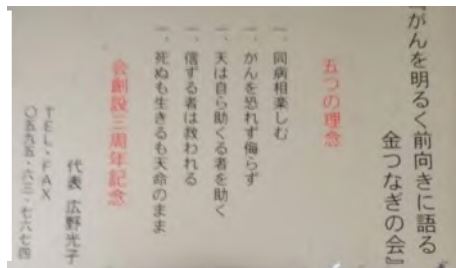
ぼくとわたしの 30年!!

☆西川宗賀(名張市、脳しゅようの再発。 会社員)

金つなぎの行事に参加するようになったのは今から26年ほど前。一度目の脳腫瘍摘出手術を受け自然治癒を目指して玄米菜食や気功などを模索していた頃、がんの患者学研究所の代表・川竹文夫さん(腎臓がん、元NHKディレクター)の講演を聴き、その著書で金つなぎの会が紹介されており、代表が名張市の広野光子さんと分かったので、すぐ電話したらいつもの調子で『一度いらっしやいよ』と気軽に仰言って頂き、お邪魔したのがきっかけでした。そのあとすぐ5周年イベントで四国八十八ヶ所の6番安楽寺と26番金剛頂寺の陶板顕彰の除幕式の旅に参加させて頂きました。今は亡き吉原敦子さん、中島榮子さん、吉田佳代さんらもご健在で、宿坊でビールを飲みながら美味しい料理を食べたのは良い思い出です。この頃はサンケイ旅行のバス貸切で毎年のように【金つなぎ非日常旅】で自然治癒力・自己免疫力を高めました。年々新しい会員も増えましたが、少数派の男性陣では金つなぎの知性と言われた筒井武彦さん、会の運営に尽力された豊崎宏さん、競馬仲間の泉本直行さんらが早々に逝かれましたが、次の40周年に向けて、少数精鋭で盛り立てていければと思っています。

☆平井喜美子 (高槻市、乳がん、主婦。 金つなぎの会理事)

産経新聞の広野光子さんの連載『金つなぎの茶碗』を読んで会員になりました。3周年記念に金色のNTTテレホンカードが発行され、お守りとして買いました。以来、いつも財布にしまって【五つの理念】を繰り返し暗唱して、がん予後の生き方の指針にしています。理念を掲げて30年！ 金つなぎの皆さまとの絆は、私の誇りです。



☆今井 和子(大阪市、乳がん。 主婦)

17年前に乳がんの手術をNTT西日本大阪病院で受け、主治医の中野先生から「金つなぎの会」を紹介して頂きました。兎に角、「情報を集めなきゃ！」と思い、パソコンの中の恐ろしい記事を読んで落ち込み、検査で病院通いの途中に葬儀屋さんの宣伝看板が良く目に入って困りました。【私だけががん患者】、と言う思い込みです。初めて参加させて頂いた松坂のとろろ汁店、亡き理事の中島さんが「外で食べる食事はとても美味しく沢山食べれる」と楽しそうに話しておられました。印象深い思い出です！ うきさともらで蜚蜚りののち大内山温泉に泊り、広野会長が先立たれた方々のお名前を蜚蜚に託して、呼んでおられましたね！ 涙が出ました。石の上にも三年と云いますが30年の金つなぎの会、おめでとうございます！ マイペースの今井ですが、今後ともどうぞ宜しくご指導をお願いします！

☆三田村光子 (豊中市、卵巣がん、介護ヘルパー。 金つなぎの会理事)



会創設10周年記念のオリジナル「さくら」

忘れもしない20年前の8月17日、私たちは生き延びた感謝と、逝友の鎮魂と、頑張っておられる生友の安寧を願って、紀州熊野の大空に240発の海花火を打ち上げたのでした。感謝と感動で、皆が泣きました。隣の棟敷の皆さまが「なんで、泣いてるの？」と不思議がっておられたけれど、大病を病んだ金つなぎの皆さまとの絆あればこそこの感謝・感動でした。今も忘れません。



30周年の今年、早くから「20年前の感動を再び！」と広野代表にお願いし実現して感謝!

☆樋口好子(吹田市、急性骨髄性白血病、主婦)

私は50歳の誕生日に風邪の症状で緊急入院。その結果は白血病との診断で7か月入院、幸いに5年後に完治と言われました。大病を経験した私は、30年前の産経新聞で『金つなぎの会』の記事が目飛び込み、がんの講演に興味を持った私は、一人で講演会に参加し素晴らしい広野会長や会員さん達と出会い入会し、現在に至っています。初の海外旅行(ニューヨーク)や、イルミネーション点灯式、折々の食事・懇談会などに可能な限り今も元気に参加させて頂いており、大変喜んでます。来年早々で90歳。主人は7年前に亡くなりましたが、子供3人、孫7人、ひ孫10人に囲まれて幸せです。最近、よく聞く「フレイル予防」として、週1回の100歳体操や地域の友人交流などにも積極的に参加して日々楽しんでおります。30周年の佳節、【金つなぎの会】の益々のご清栄をご祈念申し上げます。

☆小林紀恵子(大阪市、乳がんの再発。金つなぎの会理事)

産経新聞の連載『金つなぎの茶碗』を愛読していて、大阪駅での初会合に参加してから会員です。一昨年から介護ヘルパーとして働き出した矢先に、乳がんの再発。「なぜ、私が？」とも思いましたが、気を取り直し温存手術を受けました。金つなぎの皆さまが、激励パーティーを開いて下さって、とても励まされました。ありがとうございました！子育ても一段落した途端に乳がんの再発が。でも、めげない！前向きに頑張っていきます。

★広野光子(名張市、乳がん、卵巣がん、心疾患、糖尿病。金つなぎの会代表)



目にも鮮やかな「初代・金つなぎ封筒」は、全国の病友がたにとっても喜ばれました。浅井昭輝子さん、感謝申し上げます。リスト印刷を担当して下さい竹内節子理事に大阪でお手渡しし、喜び合いました。

80歳を迎えた年から【断捨離・終活】を始めました。いつか必ず訪れる人生最後の日のために、身辺を綺麗に片付けて逝きたいと、志を立てて始めたのですが、周年記念の今年、意外なものが見つかり、喜んでます。私たちが金つなぎの会を創設した平成7年に、浅井昭輝子さん(大阪市、浅井不動産社長。金つなぎ応援団)が、濃いピンク地に銀色の桜花を散らした素敵な封筒を5万部贈ってくださった、その封筒が多数見つかったのです。なので、『金つなぎNews』20号は懐かしいこの封筒で、全国の皆さまの元に届けさせていただきますね♪ 会創設当初の「生きたい！」と願ったあの日の若さが取り戻せますよ!!

☆諫本節子(堺市、子宮がん、肺がん。主婦)

現役の記者時代の広野光子さんが、夫の会社へ取材に来られてご縁ができ、金つなぎの旅初参加がドイツ・イタリアへの旅でした。ノルデナウの【奇跡の水】を飲むという非日常体験にわくわくし優しい旅はゆっくり、夜は早くにホテル・イン。普通は行けない様な5つ星ホテルに泊まり、流石は金つなぎの旅と、感激しました。1999年には肺がん発病、手術を受けました。病友の井口ゆきこさんらが、遠方からお見舞いに来てくださり、「金つなぎの心」がとても嬉しく、感激致しました。ちりめんの手づくりした、手のひらに乗る小さなお守りの様な、かわいいうさぎさんも、ほんとうに嬉しかった。一度広野さん宅に泊らせていただいた時、家族のことで愚痴ったら、竹内節子さんらに「あなたはワガママだ」と諭され、本音の言葉！に愛を感じました、本当にありがたい、金つなぎの会。こののちもずっと続きますように!!!!

☆藤澤 恭子(新座市、顎下腺がん。ホームヘルパー)



毎日新聞の記事で知って、京都のホテルでのにぎにぎしい総会に飛んでいき、金つなぎの皆さまに優しく迎えられ感無量でした。珍しいがんで顔面麻痺が残り、その後毎年参加してきた新宿御苑でも最初は笑顔がゆがんで悲しい思いをしましたが、「蜂針療法(Bee Venom Therapy)を続けたおかげで元に戻り、【笑顔の恭子さん】と呼ばれるようになりました。今年では会の記念事業で参加した大阪・関西万博で「動く心筋シート」に感動し、開発された澤芳樹先生が記念講演に来てくださると聞き、今からワクワクしています。

訃報 30年、よくぞ頑張ってくださいました

★広野光子(名張市、乳がん、卵巣がん、心疾患、糖尿病。金つなぎの会代表)

人が生きる過程で逃れられない現実が、【死】。今年も私たちは、大切な病友を見送りました。この世でのお別れは寂しく切ないものですが、金つなぎのお仲間には「金つなぎ天国支部」(故・吉原敦子理事命名)が大きく門戸を開き、逝かれた先輩方が金つなぎの会旗(故・住井エィ理事寄贈)、理念旗(小林幸子さん揮毫)を掲げて待っていてくださいます。逝者の皆さま、次の世でもどうぞ明るく・強く・前向きに生ききってくださいませ。

◆住井 エィさん(大阪市、金つなぎ応援団。享年93歳)

会設立総会の猪の倉温泉に、故増本さんのボランティア応援者として参加されたのが、初めてのお出合い。た。やがて、吉原理事と「金つなぎ号」の両輪となって、しっかり会を支えてくださいました。ありがとうございました。

◆明石 真由巳さん(春日井市、胃がんほか。主婦)

故・吉田佳代さんと仲よし姉妹で、初めての海外旅行(ボタマックの桜を見に行くアメリカ旅行)に一緒にからの仲間として、時には母上も一緒に、関西の催しにご参加下さり、病友との交友の絆をたくさん結んで逝かれました。今年4月に逝かれたはずのご本人から丁寧な別れのご挨拶をいただき、金つなぎのテーマである【死生観の涵養】を見事に実践して逝かれたと納得し、肅然と背筋が伸びました。明石さん、生きる勇気をありがとう！

◆上田 勝さん(名張市、赤目温泉・上田商店社長)

今年の年賀状に、生前の上田勝さんご夫妻は明るい陽光と伊勢志摩の穏やかな海を背に、Vサインで闊達な笑顔を見せておられる。その数か月後には次の世に旅立たれたとのことで、まことに人生の儚さ・あつけなさを思い知ることとなりました。名張市役所の総務課長時代にお見知りいただき、気さくにお付き合いくださって、金つなぎの会を立ち上げてからは、上田商店で温泉土産を買うと品物とは別に領収証と一万円を、必ず袋に忍ばせてくださいました。昨秋、金つなぎの忘年会上で上田屋商店に立ち寄り上田さんの訃報を知り、何かお返ししがたくて大繁盛のお客さま対応にてんてこまいをしました。あの日、見かねて手伝ってくださった病友の松澤優子さん、ありがとうございました。

★中尾 裕美(松阪市、看護師。安藤良子さん＝元三重県保健師協会会長＝の長女)

母はことし5月3日、92歳で逝きました。3月に本人に、「入院してる方が長生きできるけど、家に帰りたいの？」と聞くと、はっきり「帰りたい」と。ケアマネさんに在宅医、訪問看護、ヘルパーの在宅の体制をつかっていただき、酸素とバルーンをつけたまま退院。この時、車椅子にも座ってられない状態でした。けれど数日後、「チョコレートケーキを食べたい」と言い、自分でケーキを口に運び、本当に嬉しそうに食べてくれた姿を見た時は、【この笑顔のために退院させたのだ、後悔はない！】と思いました。63歳で食道がん、78歳で肺がんの手術を受け、他にも肝硬変、白内障、網膜黄斑部萎縮による視力障害など、たくさんの病気や障害を抱えつつ、父や友達との国内・海外旅行、歩こう会でのハイキング、お友達とのお喋り、料理等々を楽しみ、常に前向きで、何事にも負けず嫌いな人でした。



病友のお詣りに感謝申し上げます

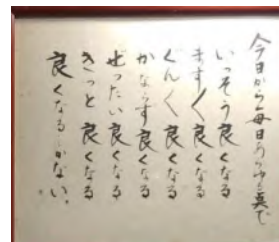
金つなぎの皆さま。長年母を支えていただきありがとうございました。「金つなぎの旅は、これが最後になっても後悔しないよう良いところに泊まってご馳走食べるんやに！」と良く言っていた母。4月に桜色の封筒のたよりを読んで聞かせた時とても嬉しそうでした。

近くに住んで、手づくりのお菓子を作ったたびたび見舞ってくださった黒川明子さん、ありがとうございました。金つなぎの皆さまのご健康とご多幸をお祈りし、私も今後、金つなぎ応援団として微力を尽くして、母の遺志を継いでいきたいと思います。

今年も私たち、元気です !!

- ☆藤山美和子（足寄市、上咽頭がん、乳がん。コンビニ経営）
- ☆室崎 昭枝（苫小牧市、直腸がん。主婦）
- ☆片山かよ子（高岡市、肺がん。主婦）
- ☆久保美恵子（東京都大田区、亡夫がすい臓がん。金つなぎの会理事）
- ☆元木 久子（東京都、鼻腔がん。主婦）
- ☆伊藤 元子（東京都町田市、主婦）
- ☆海老名良江（名古屋市、夫の介護。フリーライター。ジャーナリスト・海老名敏宏氏夫人）
- ☆松岡 隆子（大阪市、乳がん。主婦）
- ☆高見美沙緒（大阪市、家族性大腸繊維腫、髄膜腫、乳がん、十二指腸がん）
- ☆西井 喜江（大阪市、夫の介護。自営業）
- ☆富松もとみ（大阪市、血液のがん、レイノー症状。主婦）
- ☆鍋本 光子（大阪市、胆管がん。野鳥の会代表、主婦）
- ☆松永 恵子（八尾市、卵巣がん。画家）
- ☆陸野 廣子（堺市、乳がん、肺がん。主婦）
- ☆西尾ちる子（堺市、夫の直腸がんほかを介護。酒販業）
- ☆松本 正代（東大阪市、乳がん。主婦）
- ☆木野 妙子（京都市、大腸がん。元会社員、金つなぎの会理事）
- ☆楠木 博子（四日市市、胃がん。主婦）
- ☆伊藤 節子（松阪市、乳がん。元松阪中央病院婦長）
- ☆北出 恭子（松阪市、胃がん。会社社長）
- ☆黒川 明子（松阪市、スキルス性胃がん。病院パートタイマー）
- ☆岡 光彦（松阪市、食道がん。IT関連）
- ☆雪岡 潮枝（名張市、乳がん。介護福祉士）
- ☆平井 千歳（台湾新竹市＝台湾のシリコンバレー、主婦。金つなぎ応援団）
- ☆井口 政明（高砂市、胃がん。元三菱製紙役員）

妻のゆき子が、産経新聞の『がん闘病三年記・きっと良くなる 必ず良くなる』の読者で、会の設立総会（三重・猪の倉温泉しらさぎ苑）に出向いてがん患者さんの応援をするようになりました。その後私の転勤で東京に住むようになってからは、新宿御苑のお花見に参加。誘われて行った私に胃がんが見つかる、とは天の配剤のようにも思います。今では、広野代表とともに【金つなぎのおくりびと】を任じ、一方で心を病んだ人たちに寄り添うボランティアで忙しくしています。故・増本幾太郎さん（故・康子さんの夫君）揮毫の【きっと良くなる】（エミール・クーエ）の色紙に、改めて感銘を受けています。



会のモットー【きっと良くなる 必ず良くなる】は、この色紙から生まれた

☆山下直子（町田市、『ダイアナ』の歌手・山下敬二郎夫人）



見庵の主・すき焼きの牛銀、小林兜児社長と

主人が逝って14年になります。横浜での葬儀には広野代表、玉置須巳子さん、小田和子さん、池田正枝さん、千葉晴夫さん、高宝祥さんがご参列くださって、力づけていただきました。ご縁をありがとうございます。いつか、お返しをさせていただきたく思っております。この夏、金つなぎの会さんのご縁で熊野花火の舞台に立たせていただき、翌日には松阪の古民家ギャラリー「見庵（けんあん）」さんと、非日常のLIVEもできました。『ダイアナ』を歌い継ぐことが出来て、主人も喜んでくれたと思います。その後、広野代表のところへジャスラック（日本音楽著作権協会）から申請請求が届いたとのこと、小さなLIVEでしたのに、とても印象的な告知記事を掲載してくださった読売新聞さんのおかげでしょうか？ ありがとうございました。

☆ 辻欣勇社長、見代ひろ子先生。 26年もの長きにわたり素敵なカレンダーのご恵贈に感謝申し上げます

平成11(1990)年に、NHK『ラジオ深夜便』で広野代表が2夜連続で出演された放送を、辻社長(コンパックスアート代表)が聴いておられ、カレンダーを50部ご恵贈下さいました。 作者は、孔版画の第一人者で夫人の見代ひろ子先生。 毎月の絵は、【見代ワールド】とも言える優しく温かい特有の空気感が素晴らしい作品で、表紙に添えられた詩もまた、心にしみじみと訴えかけてくれます。 毎年の新宿御苑にもご夫妻で参加下さり、時にはお得意の手料理をご持参くださって病友一同歓声を挙げたことも。 感謝申し上げます。



☆塚口由美子さん。 祝10周年、手書き・手づくりの桜花の扇面(男性用、女性用)と桜花の黒文字入れ



夫君・和央さん(元会社役員)の生前、間質性肺炎の家庭内介護に全力投球で立ち向かい、日々の散歩には自転車にティッシュBOX持参で付き添い、痰をぬぐい取っては喜ばれたとおっしゃいます。大阪城公園の観梅会や、大阪第一ホテルで開催された山下敬二郎さんのLIVEにもご夫妻で参加なされ「寒さや病には負けません！」と前向きに頑張っておられました。墨絵のほか手芸もお得意な由美子さん。お忙しい日々になくさんの桜花の作品で金つなぎの病友の心をほぐしてくださり、ほんとうにありがとうございました。

☆西尾ちえ子さん。 20周年、30周年記念の大作「タペストリーは永遠に！」



20周年記念のタペストリーは100センチ×65センチ。すべてが手づくりの大作で、堂々の存在感を醸します



88センチ角の晴れやかなタペストリーは、今年熊野花火でお世話になったスタジオMs(中田麻子代表)のフロアで贈呈され参加者が大歓声でお礼をを！

「主人の寛解を喜び、会創設10周年記念に作りました」と手渡されたとき、あまりの巧緻な出来栄に絶句しました。この年、このタペストリーは名古屋、東京の観桜会に持参して病友がたに喜んでいただきました。夫君の利昭さんとは、熊野花火大会でお声かけいただき、以来会の黒柱の1本として病友の頼りに応えておられます。奥様に愛されとても幸せな患者さん♪

☆世古潤壹良(松阪市、元三井信託銀行役員。金つなぎ応援団)
時は常に未来に進み、未知に向かっている。金つなぎ、頑張れ！

☆稲垣雅彦(四日市市、三重県庁職員。金つなぎ応援団)
職場のボランティア休暇を利用して広野光子代表宅に通い、たくさんのリスト整理のお手伝いをしたところが懐かしいです。その後結婚して、二人の子供(兄妹ともに小学生)に恵まれ、元気にしております。いつも、『金つなぎNews』を贈っていただき、ありがとうございます。会の皆さまのご健勝をお祈りいたします。

☆小村静子(名張市、心疾患。元名張市老人クラブ連合会副会長)



今年 92 歳になります。88 歳の時、市の健康診断でお世話になった地元病院のK院長先生から夜に電話が入り、「検査の結果は緊急を要するから、明日一番に外来へいらっしゃい」と言ってくださり、ほどなく天理よろず病院の心臓専門外来を紹介していただき、手術を受けて成功に導いていただきました。胸部大動脈瘤破裂の恐れもあったようです。今は以前より元気になって、ゴルフやクラブ活動を楽しんでいます。この時お世話になったK院長先生には、今後も「私の命、預けます！」と思っています。

＜令和7年度下半期のスケジュール＞

11月21日(金) トリハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪 2025

【動いてナンボ！動かしてナンボ！～「動く」が支える 人・地域・日本】をテーマに開催される大がかりな研究会。金つなぎ応援団の大ぞの千恵子さん(サンエリア社長)が、楽しめたタメになる講演をしてくださいます。天満橋・京月のランチ会は、タクシーでの移動になります。

- *と き 11月21日(金) ※集合場所は参加者に直接連絡します
- *ところ マイドームおおさか(大阪メトロの堺筋本町、谷町四丁目駅、京阪天満橋駅近)
- *会費 無料、ランチは、京のおばんざいランチ＝2000円以内)



大ぞの千恵子さん(右)

11月28日(金) ♪金つなぎ【逝者鎮魂・生者安寧 祈りの電飾】

毎年少しずつ電飾の数が増え、いまや地元の冬の風物詩になっている【金つなぎ・逝者鎮魂 生者安寧祈りの電飾】(ヒロナリエ＝病友・西川宗賀くん命名)の点灯式。各地から来名の病友の手で最後の仕上げを済ませ、煌き輝く1万灯の電飾に、逝友の鎮魂を祈るとともに、いま闘病中の生友の安らかな抗がん闘病を願う、金つなぎならではの精神性の高い催しです。 ※忘年会を兼ねて企画委員さんが楽しい1泊2日の【金つなぎ旅】を考え中です♪

- *と き 11月28日(金) 午後6時点灯
- *ところ 名張市富貴ヶ丘、広野光子代表宅
- *内容 詳しくは、参加者に直接お知らせします

令和8年1月31日(土) ♪第15回名張で学ぶがん医療



テレビ番組『情熱大陸』や『ガイアの夜明け』ほかで、度々世界的な偉業が紹介された澤先生の素顔は、とても気さくで優しいDrです。どんなお話が伺えるか、興味が尽きません。

会創設30周年の記念イベントは、世界で初めて【動く心筋シート】を開発。いち早く手術に用いて成功なされ、「心臓病では死なせない」のお言葉が心に響く、心臓・IPS細胞の世界的権威・澤芳樹(さわ よしき)先生の記念講演です。とてもお忙しい中、金つなぎの会の最高顧問・今岡真義先生(大阪国際がんセンター名誉総長ほか)から推薦いただいたおかげもあり、ご快諾いただき、両先生に心からのお礼を申し上げます。

がん・難病患者も生存率が高まり、今では生活習慣などに由来する心疾患を抱える、予後の患者さんも増えました。患者群の予後に希望の灯を掲げて前進される澤先生の未来志向のお話に相応しい会場として、名張・adsホールの大ホールを予定して下さった名張市役所、名張adsホールのご担当者さま、ありがとうございます。

金つなぎの皆さま。来春のこの講演会は、新年会を兼ね1泊2日で催行されます。詳細は折々のグループLINEでお知らせいたしますので、どうぞ今から、ぜひ、ご予約に入れてくださいませ。

- *と き 令和8年1月31日(土) 午後1時半～(開場1時)
- *ところ 名張・adsホール
- *参加費 無料 ※次年度開催のための「段ボール箱寄金」にご協力くださいませ。

＜プロフィール＞ ▼昭和55年大阪大学医学部卒業▼同年同大学医学部第一外科▼平成4年大阪大学医学部第一外科助手▼同10年大阪大学医学部第一外科講師▼同18年第1外科主任教授▼27年日本再生医療学会理事長▼令和3年大阪いさつ病院院長▼大阪大学大学院医学系研究科名誉教授ほか

＜受賞・表彰＞ ▼紫綬褒章▼文部科学大臣科学技術賞▼厚生労働大臣賞▼日本医師会医学賞▼日本バイオマテリアル学会賞▼日本再生医療学会賞▼大阪大学総長顕彰▼Circulation Journal Awards▼フンボルト財団奨学金ほか多数

3月7日(土)

♪金つなぎ・ふれあい大阪城公園観梅会

心身の縮こまる厳寒の候。だからこそ、観梅に托す【非日常一日旅】のお勧めです。大阪城西の丸庭園・梅苑に咲き競う梅花は、早咲き、中咲き、遅咲きが按配よく植えられて、花と香りに癒され、この季節だからこそその不屈の闘志と気合を入れてくれます。

- *と き 3月7日(土) 午前11時半

- *と ころ** JR環状線「大阪城公園」駅改札前集合(参加費無料、雨天催行)
***内 容** 梅花・梅香を愛でて死生観を語り合う、恒例の集い

♪4月4日(土) ~ 4月6日(月) ♪金つなぎ・花追い旅

【散らなくても良いときには春の嵐にも散らない桜花が、散るべきときには風がなくても悠遠と散りゆく】という日本の国花・桜になぞらえた「金つなぎの会の理念の実践(死生観の涵養)」が、毎年の花追い旅です。爛漫の桜花の下で、お互いに生き延びたことを喜び、また、確かな死生観を語り合うという非日常のついで、闘病中の疑問や質問、意見交換などを、思いっきり吐き出して、【自己免疫力・自然治癒力】をぐんと上げましょう。

◇大阪城外苑観桜会◇

- *と き 4月4日(土) 午前11時～午後4時
*集 合 地下鉄谷町線、谷町四丁目駅1-B番出口下に午前11時

◇山梨・笛吹の桃源郷 『金つなぎ・シンボルフラワー』に会いに行く◇

8年前からご縁ができ、有志が毎年笛吹市の桃花の季節に【金つなぎ・桃源郷】と名付けて、この街を訪ねてきました。街全体が、美しいピンクの布で覆われるような錯覚を起こすほどの見事な桃花に癒され、優しく頼もしい地元の皆さまとの交流も、得がたい宝物。

- *と き 4月5日(日)～6日(月) 懐かしい「ローズガーデン」でランチ⇒菩提山長谷寺⇒金桜園の桃花
*集合 5日7時、JR大阪駅中央口⇒夕ご飯⇒高速夜行バス

◇新宿御苑観桜会◇

- ※上記3か所とも参加費は無料(昼食、お茶、おやつ、敷物など各自持参。雨天決行)

4月25日(日) ♪『金つなぎNews』 第21号 発送ボランティアのつどい

- *と き 4月25日(日) 正午～午後4時
*ところ カラオケ喫茶「さんぽ道」(竹内理事のお店を日曜に開けて頂きます)
*アクセス 地下鉄堺筋線 恵美須町駅下車。4番出口を上がって徒歩3分

みんなの為に、何かのできる幸せ！ そのひとつがNews放送ボランティア♪

＜申し込み・問い合わせ＞

- ★広野 光子=090-5614-0679 ★竹内 節子=090-9092-6894
★市田 良子=090-2061-5324 ★平井喜美子=090-9110-8688
★久保美恵子=090-1776-9898 ★池田 イツ子=090-9270-3256

金つなぎ・物故者名簿再編集のお知らせ

金つなぎの会は今年 8 月 17 日に、熊野大花火に協賛して「金つなぎ逝者鎮魂・生者安寧 祈念の海花火」を打ち上げました。当日、華麗なナイヤガラ点火に先立ち、午後6時40分を期して川上乾二・熊野市長を祭主とする「近隣初精霊供養」が行われ、金つなぎの会の供養塔と過去30年の物故者名簿がお焚き上げに供されました。その後、逝友187名の名簿に追加分が出ましたので、年度末に改めて皆さまに完成版をお届けいたします。人は、忘れられた時が本当の死であると言います。いつまでも逝友を忘れないための貴重な名簿となるでしょう。

	A	B	C	D	E	F
1			氏名	申込書	経理	備考 (西丸 上欄)
2			佐藤 孝	井口 弘子		商売関係、産活会関係上計
3			井上 茂	井上 弘子		母兄妻本名
4			小島 紋枝	小島 敬夫	夫	小島内務部派
5			村田 三郎	小島 敬夫	友人	インクスタリアルデザインナー
6			野田 元昭	小島 敬夫	友人	デザイン会社代表
7			山本 孝	小島 敬夫	友人	日本学生新聞社
8			辻 康夫	笹古常吉良	友人	本報信用金庫常務理事
9			宮崎 実	笹古常吉良	友人	タワマ川谷公司社長
10			豊田 幹子	笹古常吉良	友人	
11			黒川 貞雄	笹古常吉良	友人	

会創設 30 周年基金のご報告とお願い

栄えある会創設30周年を迎えた今年4月から来年3月までは、従来の預金通帳とは別の会計を立て、『第10回名張で学ぶがん医療』催行時に作った通帳にて、収支を計上させていただきたく、どうぞよろしくご了承くださいませ。

会計担当の市田良子理事、竹内節子理事、お世話さまです。ありがとうございます。

☆収入

・第14回講演会参加者からの段ボール寄金	3万3819円
・100円から50万円の寄金	100万2574円
計	103万6393円

☆支出

・大阪・関西万博	通信費など	1万6000円
・熊野花火協賛	協賛費、供養塔(振込み、通信費、写真代含む)	15万9200円
・山下直子LIVE	会場費、マイクなどレンタル料	8300円
※会場費に充当予定のワンコインは、記念講演会の有償ボランティアさんへの謝礼に流用いたします。		
・『金つなぎNews』一部カラー版制作費と封筒、発送費など	13万7000円	
・『金つなぎホームページ』制作費と管理費その他	12万5000円	
・名張で学ぶがん医療講演会支援	7万3819円	
・見代ひろこ先生カレンダー謝礼	3万7000円	
・「金つなぎNews」新題字デザイン制作費	1万5000円	
計	57万1319円	
差引	46万5074円	

◇30周年基金にご厚志をお寄せくださった皆々さま、ありがとうございます(五十音順、敬称略)井口政明、井口ゆき子、家田秀明、市田良子、今井和子、大澤京子、大藤きよ子、奥村智美、金岡重雄、金岡時子、川合寿美子、小沼高代、斎藤勝俊、守随孝憲、高井千穂子、田仲育代、田中廣美、田中正一、土井教子、富永智江子、樋口好子、平井喜美子、広野光子、藤澤恭子、松岡隆子、丸山泰子、三田村光子、森實律子陸野廣子、山中美代子

<記>

基金の振込みは、下記の口座にてお待ちいたしております

☆会創設 30 周年記念基金＝郵便振替 「12260、34366161、
ダイジュッカイナバリデマナブガンイリョウジッコウイインカイ」

☆金つなぎの会＝郵便振替「12210、30604701、キンツナギノカイ」

☆金つなぎHP基金＝郵便振替「12230、30604671、キンツナギエイチピーキン」

※皆々さまから、500円～5万円に及ぶ寄金と合計2870円の切手を頂戴し、中には度々のご厚志をお寄せいただきました方もおられ、まことにありがとうございます。なお、通帳残高のご報告は、紙幅の関係で次号に譲らせてくださいませ。